

◆ 各区だより ◆

名東区 のめいとう

高齢者交通安全総決起大会を開催

愛知県の交通事故死が毎年日本のワースト1の汚名を記しているため、これを返上する一助にと、名東区老人クラブ連合会の先達が、高齢者交通安全総決起大会を生み出した。この素晴らしい事業の伝統が脈々と受け継がれて、今日まで毎年行われている。

この事業は、名東区の行政部門、名東警察署の交通安全所轄部門と連携し、連合会の重要事業として、人員収容規模の大きい名東文化小劇場で開催される。



一、私たちは、夜は明るい服装や反射材を身に付けます。
一、私たちは、安全確認とゆとりをもって運転します。

このあと、愛知県警察音楽隊による素晴らしい演奏に感銘、続く女性隊員の交通ルールの寸劇「止見待良子」には、会場の参加者にも加わってもらい、笑いのある楽しい交通ルール習得タイムがありました。そして最後に全員で、「ともまつよしGO」のシュプレヒコールで閉会となりました。

(櫻井 良登)

29年度の大会(9月26日)にも、185名が参加し、長尾滋男会長の挨拶の後、前もって寄せられた403点の交通安全全川柳の中から、選ばれた優秀作品10選の受賞者が、共催5団体の長から表彰された。

続いて、大会宣言が読み上げられ、次の「3目標」を実践すべく誓い合った。

一、私たちは、運転をするときは歩行者を優先し、横断歩道では必ず止まります。



天白区 ぶてんぱく

小学校1年生とのふれあい 昔の遊びをしよう



私ども平針南学区八千代会(4クラブ約200名)は昨年11月に50周年を迎えました。現在多様な活動を行っておりますが、その中の一つに、小学校からの要望に応じた「昔の遊びをしよう(1年生を対象)」と「昔の話をきこう(3年生を対象)」があります。私は会の数名とともに指導者として参加しています。

1月27日の朝10時に学校控室で待っていますと、1年生のお子さんが教室に誘導してくれました。私の担当はお手玉です。お子さんたちはこれまでお手玉をしたことがなく、一つ一つ教えてあげると、最初は戸惑いながらも一生懸命で、何度も失敗しながらついにうまくできると大喜びで「ありがとう」といってくれました。

遊びが終わるとグループになってお話をしながら給食をいただきました。献立の一品一品を説明していますと「ほ

く野菜がきらい」というお子さんがいました。そこでいろいろ野菜の役割を説明し、「これから大きくなるために、健康であるためにたくさん食べなければいけないよ。特に豆を食べると元気が出て笑顔になるよ。もしお母さんが寂しい顔をしていたら、豆を食べるといいことを優しく教えてあげなさいね」と伝えました。終わって帰り際には「亀崎さんありがとう。また遊びに来てください」と言われとてもうれしかったです。



その後届いた『絵手紙』には、お手玉が大好きになった、一緒にご飯を食べてくれていろいろのお話もしてくれてありがとう、などうれしい言葉がたくさん綴られていました。こうしたことを励みに、これからも会の行事に積極的に関わっていききたいと思っております。

(亀崎 邦子)